



# 千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)  
電話(鉄電) 千葉 2935・2936番  
(公) 043(222)7207番

96.9.13 No. 4465

# 12月ダイヤ改正要員提案される!

JR体制移行後、動労千葉のストのたびに、当局とJR総連の限りをつくしてきたが、それに動員されるJR総連の組合員から不満が噴出し、動員が効かなくなっている現状だ。習志野運輸区のJR総連等に快速のスト破りを行わせるために快速を移管すれば、当局とJR総連の利害が一致する。

## またしても館山の業務を縮小

さらに、館山運輸区の業務をまたしても減らそうとしている。ここ数年を見ても館山運輸区は、行路の見直し等によって、  
・九三・一二ダイヤ改、▲二名  
・九四・一二ダイヤ改、▲五名  
・九五・一二ダイヤ改、▲一名  
との削減が行われている。

動労千葉の拠点である館山の行路を他区へ移管し、組織力を  
九月一日、千葉支社は、次期ダイヤ改に関する要員の提案を行った。

## スト破りのための快速の移管

別表のとおり、運輸関係では、千葉運輸区の快速を習志野運輸区へ移管し(合わせて、東京から緩行を六〇〇名も移管する)、習志野運輸区を九名増としている。  
千葉転から習志野区への快速業務移管は、「予備要員の平準化」としてはいるが、理由らしい理由ではない。

### ●電子連動装置導入による体制の見直し

《津田沼駅》  
・東京圏輸送管理システムの推進に伴い、電子連動装置を導入し、業務執行体制の見直しを図る。

	現行	改訂	増減
管理	11	11	0
一般	74	71	▲3

信号関係で見張要員▲1徹  
整理・信号7徹  
↓  
電子連動整理・電子連動6徹

### 【施設関係】 外房線複線化による業務執行体制の見直し

箇所名	現行	改訂	増減
勝浦施設区(大綱線管理室)	9	10	+1
一宮電力区勝浦派出所	10	11	+1

### 【営業関係】

#### ●直営店舗の閉店

店舗名	要員減	閉店目途
リカJC 津田沼	▲4	12月13日
喫茶エル稲毛	▲9	
アメリカン村市川	▲11	12月20日
アルディア 千葉	▲10	
喫茶エル舞浜	▲9	1月7日
カレステーション 船	▲9	
合計	▲50	

削ぎ、さらには強制配転をするという労務政策に他ならない。  
**直営店舗全廃!**  
**強制配転者を原職復帰させよ!**  
営業関係においても直営店五駅六店舗が廃止。これで直営店は全廃だ。しかし、この間の配転でも明らかとなっており、直営店舗に配転された組合員を原職や希望する職場へと配置することなく「たらい回し」の配転が行われている。  
分割・民営化移行後、大量の強制配転を強行した時、当局は「これからは全員が営業職場を経験してもらう。」としていた。しかし、実際は強制配転者のみを塩漬けにしたまま、一〇年たつたら直営店は全廃。まさに、ペテンだ。強制配転された仲間、原職復帰を行え!

### 【運輸関係】 士職 +4 ・車掌 ▲2

箇所名	職名	現行	改訂	増減	記事
千葉運輸区	士職	176	171	▲5	習志野へ快速行路、鴨輪へ行路の移管
館山運輸区	士職	50	48	▲2	鴨輪へ行路の移管
鴨川運輸区	士職	36	40	+4	千代田・館山・京葉(特急)からの行路の移管
習志野運輸区	士職	56	65	+9	千代田から快速行路、東京から緩行行路(600名)の移管
	車掌	59	66	+7	津浦から快速行路の移管
京葉運輸区	士職	86	84	▲2	鴨輪へ藤我・鴨川間の特急行路を移管
	車掌	87	86	▲1	便乗行路の見直し
津田沼車掌区	車掌	277	271	▲6	習志野へ快速行路移管
千葉車掌区	車掌	241	239	▲2	鴨輪・京葉へ行路移管。改札行路の見直し